

「感じ」「動き」「かわる」…田平東小は今年度創立150周年!



さくらの学校だより

平戸市立田平東小学校 学校だより 令和6年7月16日 文責:校長 森川 稔



1学期最終週です

あいにくの天候となった3連休でしたが、いかがお過ごしでしたでしょうか。

さて、1学期も最終週となりました。学期末にあたり、先生方は通知表作成や夏休みの学習計画の準備等で大忙しです。今回は通知表について…



通知表は、伸ばしたいところや補いたいところをお伝えし、ご家庭と協力して今後の指導に活かすためにあります。学力で子どもを



序列化するものではありません。「よくできる」の数ばかり気にする子や、逆に全く気にしない子など様々ですが、学校としては学力も人格の大切な一部分と考えています。つまり、学習の様子・生活の様子・からだの様子(出欠の記録や以前配付した「のびゆくからだ」)は、どれも大切な「生きる力」を育てる視点と考えています。

「氷が溶けたら何になりますか?」という問いに「春になります」とにこやかに答えた子どもがいたら、どう評価されるでしょうか? 理科では間違いでも、想像力や表現力の豊かさは「十分満足できる」だと思えるのです。ところが通知表では、そんな子どものよさを評価する項目がありません。そこで、所見の欄が必要になります。○や△の記号で表せない子どもの特性を文章でお伝えしています。でも、150~200字程度の文字数ではそれともたいへん難しく、先生方は悪戦苦闘しています。子どものよさを上手く伝えられないジレンマで、時には押しつぶされそうになります。

田平東小学校では、通知表を、子どもを励ますメッセージにしたいと考えています。ですから、通知表の返信欄(家庭から)には、どんな些細な事でも構いませんので、我が子のよさを十分にアピールして下さい。

2学期はじめには、子どもたちに再度通知表を振り返らせ、ご家庭と先生からのメッセージをもとに目標を考えさせようと思います。通知表がきっかけになって、今まで気づかなかった子どものよさを、ご家庭と学校が一緒になってたくさん引き出せたらいいなと思います。

なお、通知表の見方については、最終ページに記載していますのでご覧ください。ご理解とご協力をお願いします。

いいところある
じゃない



校外学習も充実しています

3年生の総合的な学習「田平・平戸の自慢」で行った瀬戸市場見学，車中からの幸橋，オランダ商館見学，4年生の社会科「水はどこから」の学習で行った下亀浄水場見学など，実際に



自分の目で見て学習内容を深める活動が充実しています。見学を通してわかったこと，メモしたことをもとに，各教室でまとめていく予定です。見学にご協力いただいた施設や関係者の方々に感謝いたします。



また6年生は，9月の修学旅行に一緒に行く田平南小の皆さんと交流会をしました。本校児童が南小に行くと，南小の皆さんが温かく迎えて下さいました。当初はちょっとお互いに緊張しているようにも見えましたが，アイスブレイク（緊張を解きほぐすための活動）をとおして会話や笑顔も増えてきました。最後はレクリエーションでドッジビーやドッジボールで盛り上がりました。親睦を十分に深めた子どもたち，9月の修学旅行でさらに仲良くなって楽しい行事を創っていきたいと思います。



がわっば祭り

連休初日の13日（土）におこなわれた「第37회가わっば祭り」には，子どもたちや保護者，地域の皆様など多くの方が集まり，楽しいお祭りとなりました。

町内3校の小学校がそれぞれに取り組んだがわっば（かっぱ）の絵画・ポスターコンクールでは，本校より9名の児童と1学年が入賞し，開会式のあとに表彰式がありました。入選した作品はもちろん，子どもたちが取り組んだがわっばの絵やポスターはどれも個性あふれた作品で，見ていてとても楽しくなりました。



その後，がわっば相撲で大歓声の中，エントリーした子どもたちの熱戦が繰り広げられました。田平町にまつわるがわっば伝説にちなんだこのお祭り，これからも地域の行事として大切にしていくとともに，水の事故には気をつけていきたいですね。

田平東小HPはこちらから→

